

令和元年11月8日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

2019年10月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2019年10月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2019年3月期											
	2018年									2019年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968	5,006	5,351
マネパカード口座数 (単位: 口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845	150,323	151,621

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	436	430	438	446	552	397	411					
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676					
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918					
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021					
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250					
金融法人 (B to B)	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363	4,770					
マネパカード口座数 (単位: 口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101	158,861					

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

<10月次の概況>

10月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝108円前半の水準で取引が始まり、月初から順次発表された米国経済指標が予想以上に弱い結果となったことからドルが売られ、3日には月の安値となる106円台半ばをつけました。その後は、米中通商問題の動向を巡り強弱材料はあったものの概ね緊張緩和への期待感が優勢となり、10日には108円台を回復しました。その後も、英国のEU離脱問題における合意への期待感等にも支えられ108円台前半から108円台後半にかけてのレンジで推移し、31日には月の高値となる109円台前半をつけ、108円丁度の水準で月末迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、概ね対円で値を上げる傾向で推移しましたが、外国為替相場の変動率は、英ポンドが値動きを拡大した他は総じて低調な水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円を中心に減少し、前月比4%減少の696億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が低下したこと等から全体の収益性が回復し前月比3%増加の411百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比922口座増加の337,918口座、マネパカード口座数は前月比760口座増加の158,861口座と低調な推移となった一方、外国為替取引預り証拠金は、一般顧客分、金融法人分ともに増加し64,021百万円となりました。

以 上